



CONTENTS

- * ジェンダー関連授業
- * カモミール月曆
- * 共同研究成果報告会
- * サイエンス夢追い人育成プロジェクト
- * 地域科学部イベント
- * ソロプチミスト岐阜賞
- * 保育園たより

ジェンダー関連授業

岐阜大学の平成29年度ジェンダー関連授業の中から、今回は男女共同参画推進室がコーディネートする前期授業をご案内いたします。（担当：相原征代 特任助教）

<労働とジェンダー>
 全学共通教育科目 前学期 火曜日3限

授業概要

ジェンダー学的視点による 社会問題の再検討

少子化、晩婚化、男女別姓、不妊治療、子供虐待など、新聞等のメディアでよく取り上げられている「社会問題」は、いったいどのような背景からそれらが「問題」として扱われているのでしょうか。この講義では、よく目にするテーマの「問題点」をジェンダー学的視点から再検討し、学生自らの視点でこれらの問題点の「再構成」を目指します。

到達目標

ジェンダーをめぐる身近な社会問題を学生自らが再検討し、多角的視点からの問題分析能力を身につけながら、「現代社会の中でジェンダーという概念がいかに深く根付いているか」について総合的な理解をめざします。

| | |
|--------|---|
| 第 1 回 | ガイダンス この授業でどのようなことを学ぶのか？ |
| 第 2 回 | 「ジェンダー」とは？ 「セックス」との違いとフェミニズムの歴史① |
| 第 3 回 | 「ジェンダー」とは？ 「セックス」との違いとフェミニズムの歴史② |
| 第 4 回 | 少子化① -そもそも「問題」なのか「問題ではない」のか |
| 第 5 回 | 少子化② -データで見る、現代日本社会の現状 |
| 第 6 回 | 少子化③ -将来への対処は？ |
| 第 7 回 | 「結婚するかもしれない症候群？」① -結婚をめぐる日本社会の現状 |
| 第 8 回 | 「結婚するかもしれない症候群？」② -パラサイトシングルと晩婚化 |
| 第 9 回 | 「結婚するかもしれない症候群？」③ -家族の多様性を認める社会へ |
| 第 10 回 | 一夫一婦制（異性愛強制秩序）と同性愛① -ヨーロッパのキリスト教的な一夫一婦制の歴史 |
| 第 11 回 | 一夫一婦制（異性愛強制秩序）と同性愛② -日本の歴史 |
| 第 12 回 | レポートの書き方 |
| 第 13 回 | 規範遵守の「自由感」と「強迫観念」 -フランスの「トップレスの社会学」の例① |
| 第 14 回 | 規範遵守の「自由感」と「強迫観念」 -フランスの「トップレスの社会学」の例② |
| 第 15 回 | 規範遵守の「自由感」と「強迫観念」 -フランスの「トップレスの社会学」の例③ |

カモミール月曆 (室長からのメッセージ)

副学長(多様性人材活力推進担当) 林 正子

FMわっちで女子大学院生の活躍紹介 * 学生組織の結成に向けて

2月13日(月)、岐阜大学大学院 連合獣医学研究科2年 佐野有希さん、総合企画部総務課 広報係の吉田慶太さんとともに、ラジオFMわっち「岐阜大学からこんにちは」に出かけました。この番組のパーソナリティは、元名古屋テレビアナウンサーで、現在も多方面にわたって活躍なさっていらっしゃる浅井彰子さん。浅井さんは、地域科学部同窓会「森の会」会長を長らく務めてくださっていますし、吉田さんも教育学部の卒業生。まさに「岐阜大学一色」の出演メンバーとなりました。



▲ FMわっち スタジオにて

今回の「岐阜大学からこんにちは」では、メインテーマとして、今年度、国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョン「女子大学院生・女子学生奨学金」を授与された佐野さんに、ご自身の研究内容や、獣医学を学ぶことになった契機、日頃、女性研究者として感じていることなどを語っていただきました。

佐野さんが国際ソロプチミストから授与された奨学金は、日本中央リジョン区域2府12県(愛知・福井・岐阜・兵庫・石川・京都・三重・長野・奈良・大阪・滋賀・静岡・富山・和歌山)で学ぶ優秀な女子大学院生を支援することを趣旨としており、選抜されたわずか3名のうちのお一人が、佐野さんです。番組でも、ご自身の冬眠研究の内容を、生き生きと語っていただきました。

佐野さんの話題との関連で、私自身は、岐阜大学の男女共同参画推進の取り組みのなかから、佐野さんも担当してくださっている女子大学院生による出前講義「サイエンス夢追い人育成プロジェクト」をご紹介し、男女共同参画推進の活動に参加する学生組織構築に向けての企画についてお話をしました。

「かもみーる通信」でも毎回のようにご報告している「サイエンス夢追い人育成プロジェクト」は、若手女性研究者の育成や裾野拡大を趣旨として、女子大学院生が岐阜県内の小中高等学校に出かけ、自身の進路選択の経緯や研究テーマについて講義をおこなう取り組みです。担当する大学院生にとっては、自分の研究をさらに若い世代に伝えることで研究へのモチベーションが喚起され、また、受講する生徒の皆さんは、若い女性研究者の活躍に接することで進学意欲が掻き立てられるという効果が顕著となっています。男女共同参画推進室の活動のなかでも、多大の成果をあげている取り組みの一つです。

また、積年の課題となっている、男女共同参画推進の活動に主体的に参加する学生組織の結成をめざして、吉田さんにご尽力いただき、「カモミール・ミーティング」(仮称)を開催する運びとなりました。理系学部で学ぶ女子学生は年々増加していますが、工学部では女子学生の比率が15%にとどまっています。リケジョの活躍を促進するコミュニティづくりをめざして、まずは参加できるメンバーによるフリートークの機会を設定しようということになった次第です。

理系女子のコミュニティとしては、名古屋大学の「あかりんご隊」、東北大学の「サイエンス・エンジェル」などが知られています。「研究室の女子学生が少ないので、理系女子が気軽に話せる環境がほしい!」「子どもたちに科学の面白さを伝えたい!」など、女子学生自身が主体的に構築したコミュニティです。男女共同参画推進室では、そのような学生組織の結成と活動を、ぜひ支援したいと考えています。冒頭で紹介した佐野有希さんが、この企画においても積極的に参加することを表明してくださっており、今後の展開が期待されます。



一歩一歩のあゆみを進め、男女を問わず、年齢を問わず、職掌を問わず、国籍を問わず、「学びやすく働きやすい大学」をめざして、男女共同参画推進室・人材開発部職員育成課の取り組みを今後も重ねて参ります。皆さまのご支援ご協力、引き続き、どうぞよろしくお願い致します。



共同研究成果報告会

(岐) 岐阜大学 (薬) 岐阜薬科大学 (女) 岐阜女子大学 (ア) アビ株式会社



▲ 鈴木 紀子 学術研究補佐員 (岐)



▲ 森本 智美 主任 (ア)



▲ 新井 靖子 研究員 (ア)



▲ タマワノ マチカ 助教 (岐)



▲ 稲垣 瑞穂 助教 (岐)

2月23日(木)の15:00~18:10、3分野(医・薬学系研究、人文・社会系研究、プロポリス・食品系研究)の共同研究について、それぞれに講評者のコメントと質問を受けました。ほぼ全ての研究テーマに質問やコメントがあり、単なる報告にとどまらず、次の研究につながるような活発な議論が生まれました。最後に、森脇学長からの総評と林副学長からの閉会挨拶があり、学長からは、「この報告で終わらずに、その後どのような発展があったのかを公表する機会を設けてほしい」との要望が出されました。



▲ 柴田 早苗 准教授 (岐)



▲ 曾田 翠 助教 (薬)



▲ 斉藤 陽子 准教授 (女)



▲ 寺町 ひとみ 教授 (薬)



▲ 井戸 章子 助教 (薬)



▲ 柴田 奈緒美 助教 (岐)



▲ 小山 真紀 准教授 (岐)

サイエンス夢追い人育成プロジェクト

(女子大学院生による出前講義)



2月3日(金)岐阜高校で、工学研究科生命工学専攻博士前期1年の寺添朱里さんの出前講義がおこなわれました。岐阜高校は初めての出前講義で、しかも放課後の女子生徒のみの希望者参加という実施形態をとりましたので、聴講生46人すべてが、理系に興味のある女子高校生となりました。寺添さんは今年度2回目の出前講義だったので、さらにわかりやすい講義になり、理系を目指す女子高校生に大いなるエールを送る機会となりました。



2月21日(火)岐阜農林高校で動物科学科2年生向けの出前講義がおこなわれました。応用生物科学研究科生産環境科学専攻修士1年の比護友里恵さんが、「大学院の研究内容とわたしの進路選択」というタイトルで、豚の消化過程の研究と自分の進路について紹介しました。このクラスは1年生の時も出前講義を受けているのですが、もうすぐ3年生になるというこの時期の講義は、昨年度よりも一層の真剣味が感じられるらしく、どの生徒さんもとても集中して聴いていました。

地域科学部イベント

2月18日（土）、5年目を迎えた、地域科学部1年生が企画する「地域の子育て支援」イベント（社会活動演習）が、男女共同参画推進室の後援で開催されました。8組の親子（0歳～9歳11人）と18名の学生が、ハンドベルの演奏、ゲーム、親子似顔絵書き、ダンスを満喫しました。

お父さん、お母さんと離れていても大丈夫だよ！



お兄さん、お姉さんと一緒にゲームをしたよ♪

岐大生と一緒に
「遊んで・学んで・ダンスをしよう！」



イベントを終えて、参加者全員集合！

楽しかったね☆
来年もまた参加したいな♪

国際ソロプチミスト岐阜賞

男女共同参画推進室の相原征代 特任助教が、国際ソロプチミスト岐阜賞を受賞しました。この賞は、将来性のある有能な女性研究者に対して贈られたものです。相原先生は、社会学・ジェンダー学が専門で、最近では日本の若者の恋愛・結婚に対する意識を対象として研究を進めています。

ソロプチミストとは
ラテン語で
「女性にとって最良のもの」
を意味する奉仕団体

2月3日
節分会

保育園たより

「ほほえみ」では、鬼のパンツの手遊び歌や出し物で自分の中に潜む「おこりんぼ鬼・なきむし鬼たち」を退治しました。鬼とお福さんも登場して大いに盛り上がりました。「すこやか」では、窓や壁に貼った鬼に向かって「鬼は外」をみんな一緒に楽しみました。

鬼は外！！



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3378 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。